

## 赤兎山周回山行

1. 令和2年6月27日（土）
2. 参加者：K岡、Y尾、H川、T部、I藤（報告者）
3. コースタイム  
奈良発（5：00）～三谷川林道登山口（9：00）  
三谷川林道登山口（9：15）～小原峠（11：35/11：45）～赤兎山（12：25/12：35）～  
赤兎避難小屋（12：55/13：20）～裏赤兎山（13：50/14：00）～杉峠（17：25/17：40）  
～杉峠登山口（19：30）～三谷林道登山口着（19：35）  
（28日予定の別山は天候事情で中止して帰奈良）

### 4.概要

北陸・福井の山は奈良からは高速を使えば、大台・大峰の奥峰へ行くことと時間的にあまり変わらないこともあってよく計画する。今回も数回ピークを踏んでいる赤兎山と別山に、コロナの自粛もあり長い間登っていなかった一泊二日の山行に行くことにした。

今回は、赤兎山のマイナーな登山ルートである。西俣谷川の越前禅定道を取り赤兎山へ。その先の避難小屋からは三ノ峰の東尾根筋の中ほどにある杉峠を周回して反時計回りに杉峠登山口に下山するコース。

赤兎山の縦走ルートとしてはロングで、あまりポピュラーでないルートであったが、それは過去に歩いた尾根筋の足跡を繋ぎたいという気持ちがあった。

山と高原地図では前半の赤兎山まで3時間20分。山頂から下山までは4時間40分になる。その為、奈良を5時に出発にした。メンバーによってはその時間に間に合うために三時半に起床した方もいた。

下山後は、翌日の為にテント泊する市ノ瀬のキャンプ場が数分の所にあることから下山が少し遅くなっても大丈夫と計画されていた。

最初の西俣谷川の登山道はあまり登山者が入っていないので少々荒れ気味のところがあつたが、小原峠まで順調に歩いた。小原峠では最短コースの小原林道から登って来られた登山者で賑わっていた。

この峠から頂上まで順調に登る。山頂からの眺望は素晴らしい。霊峰・白山が残雪を抱いているのが眺められる。その左に明日登る別山より左へ石徹白道（南縦走路）の稜線が続く。

荒島岳、銀杏峰、大長山、取立山など懐かしい山々が視野に収まる。赤兎山は狭いピークだが展望は360° 素晴らしい。

ピークから東へ進むとニッコウキスゲが鮮やかに咲いていた。避難小屋のある位置は少し低く、広々とした笹の稜線は開けていて眺望のよい道であり風景は美しい。

ニッコウキスゲは避難小屋の先まで咲いている。小原峠からの登山者はここからピストンで下山される。

私達はここから先を歩くのが今回の目標である。しかし杉峠までの行程は予想以上に難渋した。ルートは登山者が通らないのでほとんどが腰までの笹などのブッシュに覆われていた。アップダウンもあり足元の確認やら岩などもありスムーズに進まない為ペースは上がらない。女性4人の体調は絶好調であるがリーダーのK氏の体調がすぐれない。山行で苦勞するのを最近見かけるようになってきた。疲労が蓄積して体重移動などがスムーズに行えずふらつき気味である。繰り返しのアツプダウンが重なりペ

ースが落ちる。よろけて斜面に落ちないように荷物を分担し、留意しながらの歩行となった。その結果、杉峠登山口に着く前にヘッドランプを使用することになるほど時間を要した。

歩行距離 16.1 km、所要時間 10 時間 20 分、累積標高差 1320m だった。

また、翌日に予定していた別山は今日一日の疲労と明日の天候を考えて中止とし帰路に就く。